

園庭に抜ける通路にある溝の蓋を、職員にて修繕をおこないました。



錆びて朽ちている蓋の代わりに既存のコンクリート板をカットして切り込みを入れ、溝の蓋すべてをコンクリート板にするという作業。

これにより、費用を10分の1に抑えることができました♪

作業中は、施設の職員というよりはまるで職人さん!?

業務の合間を縫って作業していただいた職員さん、おつかれさまでした!!

一方、こちらの通路をぬけた園庭には、みかん、れもん、きんかん、晩白柚、柿、いちじく、プルーン、キウイまで!実は光生園の園庭にはさまざまな植物が植えられています。

その中でも現在見頃をむかえているのは“紫式部”という植物です。

日本に古くから自生している樹木の1つだそうで、光生園には色違いで白い紫式部もあります。



当園の紫式部は自生ではありませんが、ご家族様が利用者の方々に四季のうつろいを感じてもらえるようにと植えてくださったものです。お散歩される際は、ぜひご覧になってみてください。

園庭に設置してありましたイスとテーブルは経年劣化によりだいぶ古くなっていましたが、こちら職員にてリニューアル中です。こちらは作業途中のもの。



表面を削り、新たにペンキを塗って組み立て直します。

長引くコロナ禍、少しでも利用者様ご家族様の憩いの場となりますように・・・

出来上がりをお楽しみに☆ (二村)